

ふくしま応援ニュース

郡山 マッスルスーツに理解  
開発者が原理など解説



自ら開発したマッスルスーツを説明する小林教授

東京理科大の学生の  
保護者でつくる「東京  
理科大こうよう会」の  
県支部は二十三日、郡  
山市の特別養護老人ホ  
ームうねめの里はるひ  
めで腰部補助マッスル  
の

腰部補助マッスルスーツを開発したが、東京理科大工学部の小林宏教授だったため、小林教授を招いて企画した。支部員、施設関係者に加え、地元の高校生約二十人を招待し、約五十人が受講した。介護職員の作業負担を軽減させるロボットで、小林教授は「実用的なロボットシステムの開発」と題してマッスルスーツの原理や開発経緯などを説明し、最先端のロボット開発の現状を紹介した。引

き続き施設職員がどの実演し、小林教授が解  
ように使っているかを説いた。